

**平成17年度事業報告**

岩手大学教育学部附属教育実践総合センター（平成17年度分；2006年1月31日現在）

所在地：

住所 〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目3-18-33

電話 019-621-6640（事務室） FAX 019-621-6644（事務室）

構成員：（平成18年1月31日現在）

センター長	助 教 授	新妻 二男 (tsugio@iwate-u.ac.jp,	019-621-6624)
専任教員	教 授	加藤 義男 (yoshio@iwate-u.ac.jp,	019-621-6634)
専任教員	教 授	大河 原清 (ookawara@iwate-u.ac.jp,	019-621-6641)
専任教員	助 教 授	塚野 弘明 (tsukano@iwate-u.ac.jp,	019-621-6642)
併任教員	助 教 授	田代 高章 (tashirot@iwate-u.ac.jp,	019-621-6620)
	客員教授	八重樫 勝 (yaegashi@iwate-u.ac.jp,	019-621-6643)
	客員教授	山村 保之 (yamamura@iwate-u.ac.jp,	019-621-6686)
事務補佐員		佐藤奈々子 (nanako@iwate-u.ac.jp,	019-621-6640)
事務補佐員		林 悦子 (ehayashi@iwate-u.ac.jp,	019-621-6640)

**1. 学内での年間活動状況（教員養成教育・現職教員再教育の視点から）****(1) 公開シンポジウム**

「こころの傷をうけやすい子どもたち：その理解と支援

—子ども虐待及び発達障害を通して—

日時：平成17年2月19日 対象：教員、学生、一般市民 参加者80名

**(2) セミナー****① 「第2回軽度発達障害セミナー」**

日時：平成17年3月5日 対象：教員、心理・リハビリ関係者 参加者33名

**② 「特別支援教育コーディネーター研修セミナー」**

日時：平成17年7月29日 対象：盲・ろう・養護学校教員、参加者20名

**③ 「特別支援教育教え方教室授業実践セミナー in 岩手」**

日時：平成17年11月5日 対象：教員 参加者250名

**(3) 講演会****① 「脳と学習のかかわり」**

講師：川島隆太（東北大学教授）

日時：平成17年2月5日 参加者：310名

**② 「軽度発達障害児・者への支援**

—家族・教育関係者との連携及び現状と今後の課題—

講師：千谷史子先生（ADHD研究会代表）

日時：平成17年6月12日 対象：教員、学生、一般市民 参加者97名

**③ 「食生活が子どもを変える—地域性を生かした食育とは—」**

講師：足立己幸先生（女子栄養大学教授） 対象：教員、保護者、市民

日時：平成17年9月9日 参加者：131名

**(4) 研修会****① 教員研修会：学校教育の現状と課題についての講話**

日時：平成17年7月20日

対象：教員、参加者数：約40名

②教員パソコン研修会：教員のパソコン指導力の向上、

日時：平成17年8月2日、11月30日

対象：小中学校教員、回数：2回、参加者数：55名

(5) 附属学校園との共同研究プロジェクト研究会

- ・授業研究プロジェクト
- ・複式学級・小規模学校研究プロジェクト

センター専任教官の学部・大学院教育への参与状況

(1) 学部教育

専任教員4名と客員教授が小学校教育コースの中に教育実践学サブコースを担当し、24名の学生を教育している。授業研究（前期 30名）、認知心理学（前期 30名）、情報基礎（前期 50名）、教育実践研究Ⅱ（前期 20名 後期 20名）、生涯学習情報論（前期 30名）、情報教育法Ⅱ（後期 7名）、初期ゼミ（前期 12名）、教職入門（前期2回を担当 220名）、生徒指導（前・後期 440名）、教授行動論（前期 20名）、教授行動論特殊講義（前期 22名）、教育実践研究Ⅰ（前期 7名 後期 7名）、教育臨床研究Ⅰ（前期）、教育臨床研究Ⅱ（後期）、生活科教育法（前期 160名）、岩手県教育職員免許法認定講習「教育とメディア」（前期1名）、教育とメディア特殊講義（後期 43名）、障害児福祉論（前期）ボランティア論（後期）、教育臨床心理学（後期）、

(2) 大学院教育

教育コミュニケーション工学特論（前期 5名）、教育コミュニケーション工学特別演習（後期 2名）、専修免許取得公開講座「教育コミュニケーション工学特論」（後期 1名）、認知心理学特論（前期 25名）、認知心理学特別演習（後期 3名）、障害児臨床心理学特論（前期）、障害児臨床心理学特別演習Ⅰ（後期）、障害児臨床心理学特別演習Ⅱ（後期）特別研究（前期・後期／1名）

(3) 卒論・修論（9名）

卒論指導8名、修論指導3名

(4) その他 岩手県教職経験者10年研修（前期 4名、後期 20名）

2 対外的な教育・研究活動状況

2-1 教育実践部門

・都道府県／市町村／公立学校との協同事業による研究会・研修会

本年度は、岩手大学と滝沢村、北上市が共同研究を締結し、初等中等教育に関する様々な共同事業を計画・実施した。来年度は、これに加えて雫石町、矢巾町、紫波町と共同研究を予定している。この他にも県内23市町村と連携し、3領域で計19事業を実施している。領域：①教員研修 ②学生派遣（実地教育） ③生涯学習支援

①教員研修

(1) 学校教育支援事業（岩手県6市町村、北上、水沢、青森県1市）

・学力向上などをテーマとし、教育学部教員が学校現場に向向いて現職教員を対象とした研修を実施

(2) 教員のパソコン指導力向上研修事業（3市町村）

- ・教員のパソコン指導力の向上を目的とした初心者、中・上級者に対する研修会
- (3) 教職経験10年者研修支援事業（全市町村）
  - ・63講座（夏41講座、冬22講座）に315名が応募。
- (4) 小規模・複式学級指導支援事業（全市町村）
  - ・複式学級の手引き、DVDの作成、へき地研究会への参加などを実施。
- (5) 教員の指導力向上研修事業（岩手県）
  - ・本年度の派遣はなかった。
- (6) 体力向上支援事業（岩手県）
  - ・学校現場への指導助言。
- (7) 専修免取得公開講座
  - ・7講座に16名が参加。

## ②学生派遣（実地教育）

- (1) ラーニング・サポーター・プロジェクト（滝沢村）
  - ・滝沢村の小学校、中学校それぞれ3校に年間を通じて、学習指導、特別支援教育などの支援を目的として学部生、大学院生を23名派遣。
- (2) 学力向上支援事業（盛岡市、紫波町、水沢市、北上市、大迫町）
  - ・県内5市町村の小学校、中学校に年間を通じて77名の学部生、大学院生を派遣。
- (3) 学生ボランティア派遣事業（全市町村）
  - ・スクールトライアル事業（教員志望学生対象）
 

県教委と県内4大学の共同事業。学習指導、部活、行事など幅広い領域で学校支援活動を通して実践経験を積ませる目的で、教員志望の学生を学校現場に派遣。1年生から大学院生まで58名が延べ99の支援活動に参加している。
  - ・スクールトレイニー事業（教採合格学生対象）
 

岩手県教員採用試験合格者を対象にした県教委と県内4大学との共同事業。教員の業務に対する理解を深めることにより、教員としての実践力を身につけるとともに4月からの教員生活へ円滑に移行できるよう採用前の不安を軽減することを目的とする。4年生23名が参加予定。
- (4) G S I P（教員研修留学生スクール・インターシップ・プログラム）（盛岡市）
  - ・教育学部留学生のインターシップ。英語の授業や国際理解教育への支援。
- (5) 日本語教育支援事業（盛岡市）
  - ・本年度の実施は未定。
- (6) 地域教育実習（4町村）
  - ・葛巻町、沢内村、遠野市・住田町、普代村の4地域に学生50名、教員15名が参加
  - ・小規模学校や複式学級での授業参観・研究会、子どもとの交流や地域についての学習などを実施。
- (7) フレンドシップ事業（2市町村）
  - ・野外体験教育、小学生パソコン指導などを実施。

## ③生涯学習支援

- (1) 教育学部出前講座（2市1町）
  - ・一関市、花巻市、岩手町に教育学部教員が出向いて一般市民対象の15講座を実施。約300名が参加。
- (2) 地域子ども教室推進事業（2市町村）

・子どもの居場所づくり事業の支援。

(3) サテライト教室（3市）

・テレビ会議システムを利用した県内3市での岩手大学サテライト教室。本年度は実施未定。

・外部資金導入状況

助成金名称	研究題目	本年度金額(千円)	研究期間	研究代編
地域連携事業費	初等中等教育支援事業	4,500	平成17年度	塚野弘明

## 2-2 教育臨床部門

### 市町村との協同事業

(1) 学校不適応支援事業・ADHD等支援事業

① 矢巾町・紫波町教育委員会との共同事業による「特別支援教育研修会」

・講義及び演習

・日時：平成17年8月1日 対象：教員 参加者：18名

② 久慈市教育委員会との共同事業による「学習障害児等相談会」

日時：平成17年8月8日 対象：教員、保護者 相談者：7人

③ 北上市教育委員会との共同事業による「教育研修会（特別支援部会）」

日時：平成17年6月28日、平成18年1月11日

対象：教員 参加：6月 15名、1月 約80名

### ・カウンセリング、コンサルテーション等活動状況

(1) コンサルテーション

ケースコンサルテーションの実施（出向く形、及び来所の形）

期間 平成17年2月～18年1月20日 対象：教員

件数：25件（幼稚園・保育園12、小学校7、中学校4、その他2）

(2) カウンセリング

個別相談・カウンセリングの実施

時期：平成17年2月～18年1月20日 対象：保護者、子ども

参加者数：91名（新規46名、継続45名）、相談回数：199回

(3) グループ相談（平成16年2月～17年1月）

イ) 「みんなでチャレンジ」（不登校児へのグループ支援）

対象：不登校、かん黙の小中学生8名、年間8回（月一回）実施

ロ) エブリ教室（高機能広汎性発達障害児のグループ支援）

対象：高機能広汎性発達障害児7名、年間11回（月一回）実施

ハ) エブリ談話室（中学生以上の高機能広汎性発達障害者をもつ保護者のグループカウンセリング）

参加保護者：9名 年間9回（月一回）実施

ニ) エブリ親の集い

（幼、小の高機能広汎性発達障害児をもつ親のグループカウンセリング）

参加保護者 11名 年間8回（月一回）実施

ホ) わっこの会（ADHD児をもつ保護者のグループカウンセリング）

参加保護者：15名 年間8回（月一回）実施